

川田建設創立50周年記念事業

# 那須トレーニングセンター 本格運営開始



## 現場に潜む危険を疑似体験し、労働災害の根絶へ



研修棟正門



15項目の労働災害を疑似体験できる実習棟



最大120人収容可能な研修室。梁に自社開発のプレビームを採用し、無柱大空間を実現している



- 50年の歩み**
- 1971年11月 川田工業株式会社の工事部から分離独立し、橋梁工事の架設を主体に現地施工業務を行う川田建設株式会社(関東)を設立。同時に、関東地区の営業力強化のため栃木県大田原市に栃木営業所を設置。
  - 1972年11月 本社を東京都文京区本駒込に移動。
  - 1973年12月 本社を東京都文京区本駒込に移動。
  - 1974年12月 本社を東京都文京区から北区滝野川に移転。
  - 1976年6月 大阪営業所を開設。
  - 1977年2月 大阪営業所を支店に移格。
  - 1980年1月 東京支店を開設。
  - 1980年1月 九州営業所を開設。
  - 1980年8月 九州営業所を支店に移格。
  - 1982年3月 PC工場(那須工場)を栃木県大田原市に新設。
  - 1983年4月 那須工場について通商産業大臣の日本工業規格(JIS)認定を取得。
  - 1983年12月 土木・保全事業部、プレキャスト事業部を新設。
  - 1987年4月 プレキャスト事業部を東京支店に統合。
  - 1988年3月 富山支店を北陸支店に改称。
  - 1988年3月 栃木県大田原市に技術研究所を新設。
  - 1988年12月 ISO9001:1984(品質)認定取得。
  - 1989年9月 新規事業開発室を新設。
  - 2000年7月 東北営業所、名古屋営業所を支店に移格。
  - 2000年10月 東京証券取引所市場第一部に上場。
  - 2001年3月 九州工場竣工。
  - 2003年4月 品質マネジメントシステムを全社統一し運用開始。
  - 2003年11月 品質・環境・安全を全社統一し統合マネジメントシステムとして運用開始。
  - 2004年3月 ISO14001:1996(環境)認定取得。
  - 2004年3月 OHSAS18001:1999(安全)認定取得。
  - 2007年1月 川田グループ経営強化のため上場廃止。
  - 2012年9月 広島営業所を中国支店に移格。
  - 2017年7月 栃木県大田原市に新築東機材センター建設(移転)。
  - 2021年4月 栃木県大田原市に那須トレーニングセンター開設。

### 近年の主な施工実績



秋山高架橋(神奈川県伊勢原市) 2020年 | 牧町天空大橋(滋賀県大津市) 2018年 | 早月川橋床版取替工事(富山県滑川市) 2017年 | 吉浜高架橋(岩手県大船渡市) 2016年 | 志賀ノ鼻大橋(長崎県対馬市) 2013年 | 不動大橋(群馬県長野野町) 2010年

川田建設は、創立50周年記念事業として栃木県大田原市に整備した「那須トレーニングセンター」の運用を開始した。同センターは、安全帯が下がり、玉掛けの挟まれ、感電など15項目の労働災害を疑似体験できる設備やドローン訓練装置、実大構造物展示スペース、最大120人収容できる研修室などを備え、社内外の安全教育、技術研修の拠点として活用する。施設の施工は川田工業が手がけた。

### Interview

川田建設株式会社  
代表取締役社長

川田 琢哉氏



## 最新鋭の設備で感動的な学習体験を提供

「創立50周年を迎えられたことをお話し下さい。」  
「現在は、1971年11月に川田工業の工事部から分離独立して分業独立した。以来、PC(プレキャスト・コンクリート)橋梁を中心に、全国各所でその実績を残してきました。橋は、人々の暮らしに重要なインフラです。半世紀にわたって当社が継続して取り組んできたのは、橋を安全に、そして、地域に貢献する責任を背負って、金銭的など大勢の方々の支援のたまものであり、感謝の気持ち一杯です。50年と言っても業界では後進で、より一層社会に貢献する企業として研さんに励んでいます。」

「PC橋梁市場はこの6年間、3000億円の発注規模と比較的安定しています。しかし、新設需要は、下降傾向が続いており、新たな事業基盤の確立が重要な課題と捉えています。そうした状況下で、老朽化した橋梁の保全・更新事業の強化に取り組む。現在は売上高に占める割合が約3割に達し、新規事業の拡大に注力しています。50周年記念事業のテーマとして教育を掲げ、人材育成の重要性を再認識しました。2016年から運用を開始した、この50周年記念事業のテーマとして教育を掲げ、人材育成の重要性を再認識しました。2016年から運用を開始した、この50周年記念事業のテーマとして教育を掲げ、人材育成の重要性を再認識しました。」

「現場でも死亡災害を発生させないよう、安全意識の徹底を図っています。安全意識の徹底を図っています。安全意識の徹底を図っています。安全意識の徹底を図っています。」

未来を築く、新たな50年の旅へ



# 川田建設株式会社

〒114-8505 東京都北区滝野川6-3-1  
TEL 03(3915)5321 FAX 03(3918)3547  
www.kawadaken.co.jp